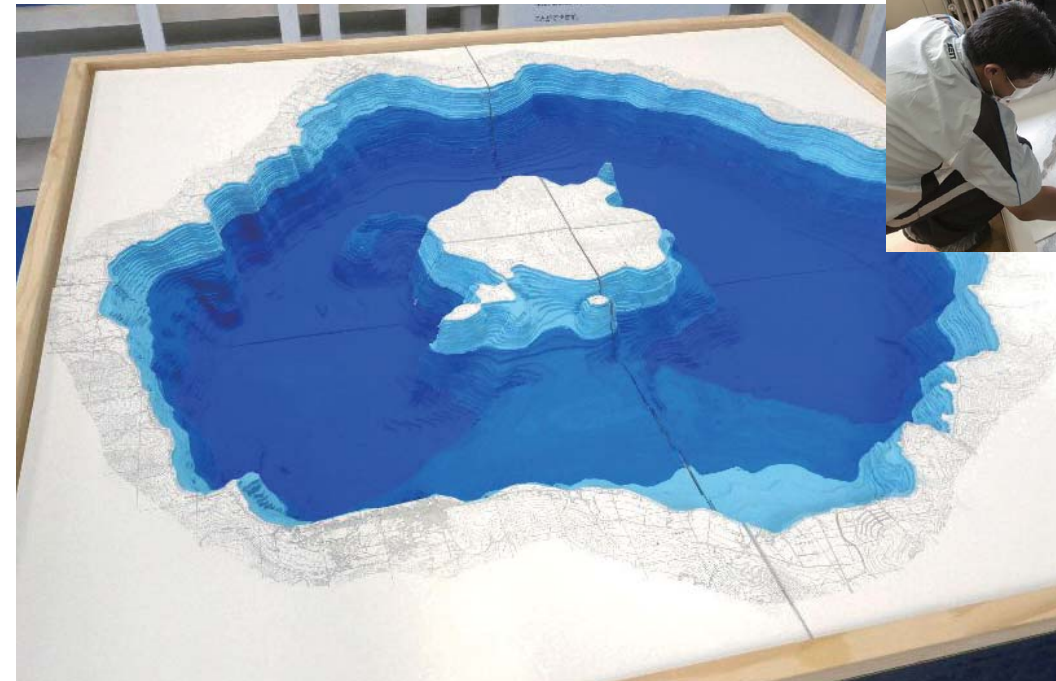


洞爺湖有珠山ジオパークの小中学生、高校生と連携した ソーシャルディスタンシング事業

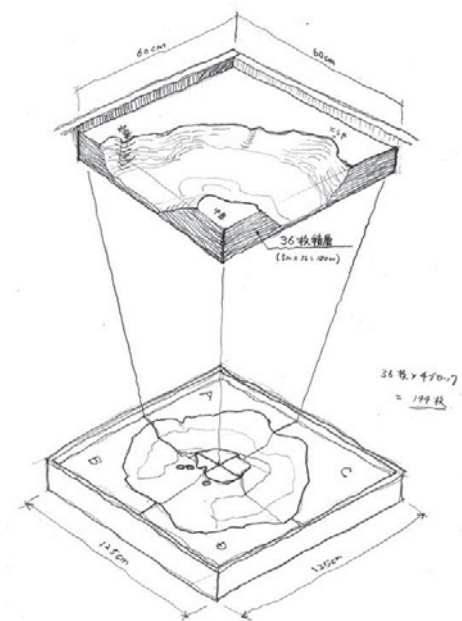
■プロジェクトの概要

新型コロナウイルスの影響で集合型イベントが開催できない中、工夫をしながら実施した模型製作の取り組みを紹介します。



洞爺カルデラの水面下の地形を表現した積層モデル「洞爺湖水中模型」を、地域の小学生～高校生、及びボランティアの大人の協力で、完成させました。

■企画時のイメージ図



■完成品の仕様



《仕様》

- 材料 厚さ 3 mm のスチレンボード 37 層 × 4 ブロック
- 外寸 1,300 mm × 1,300 mm (木枠を含む)
- 原図 1/10,000 湖沼図 (国土地理院) ○比高 1 : 6
- 設置 洞爺湖観光情報センター (洞爺湖町洞爺湖温泉 142) 内「ジオパークと大地の恵み展」会場



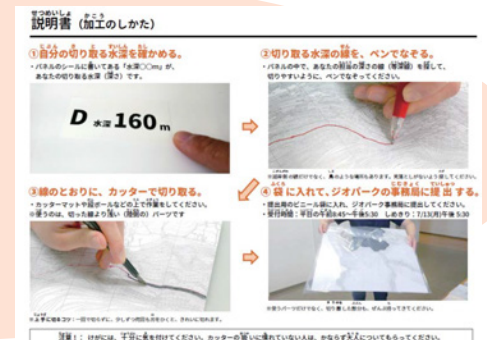
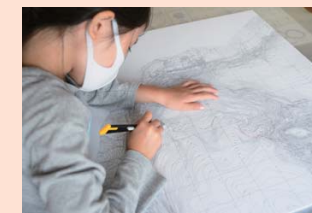
■ソーシャルディスタンシングの考え方と参加者

チームを分け、作業の場所と時期を分散させることで、参加者間の接触をできる限り回避しました。

切り抜きチーム

《参加人数 : 109 人》

- ① 各自、協議会でキットを受け取る。
- ② 自宅 (または学校のクラス等) で切り抜き加工をし、専用の袋に入れて協議会に提出する。
(協議会では、提出後の袋を触らないように 2 週間保管)



ジオパーク推進協議会

組み立てチーム

《参加人数 : 15 人》

伊達緑丘高校地理クラスの生徒で組み立てチームを結成。
(学校の感染防止対策の中で実施)

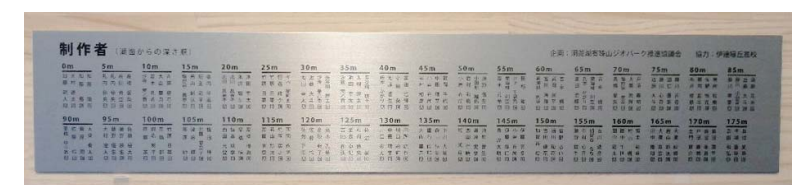


夏休み中の助っ人

高校が夏休みの間は、大人の有志チームで作業を進めました。



切り抜きチームと組み立てチームの皆さんの名前を「制作者」として表示した金属プレートを作成。完成した模型に設置しました。



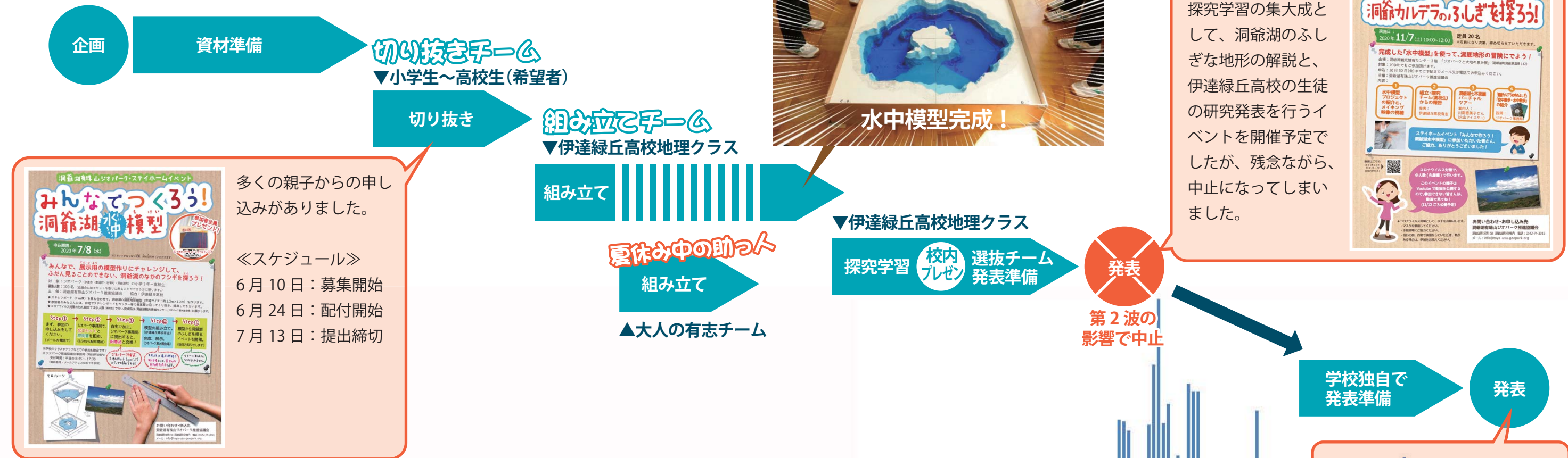
洞爺湖有珠山ジオパークの小中学生、高校生と連携した ソーシャルディスタンシング事業

地球惑星科学連合大会2021 O-02 C003627

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 加賀谷にれ 畑吉晃

伊達緑丘高校 教諭 加藤明人 黒田聖乃 生徒 高木孔希 岩村和磨 北田夏奈子 富田浩輝 塩野谷美奈

■実施のステップ



2020年は、本当に大変な一年でした。新型コロナウイルスの影響に加えて、野外ではヒグマの出没が相次ぎ、9月までは屋外のイベントも実施できませんでした。その中で、この「洞爺湖水中模型」制作の企画は、丁寧に準備、実施することで、のべ130人を超える参加を得ることができました。

新型コロナウイルス感染者
北海道内第1波

2020年は、有珠山周辺で例年
にないほど、ヒグマの出没が
相次ぎました。

北海道内第2波

■伊達緑丘高校の生徒による発表

持続可能な世界・北海道高校生ポスターコンテストでプレゼンテーション

地理クラスでは、完成した洞爺湖水模型を利用して「洞爺湖の水、全部抜いてみた」をテーマに探究学習を行い、各自の研究テーマと考察結果について、授業の中で発表を行いました。さらに、発表チームが結成され、北海道大学環境科学院主催「持続可能な世界・北海道高校生ポスターコンテスト」(オンライン開催)に参加して、それぞれプレゼンテーションを行いました。



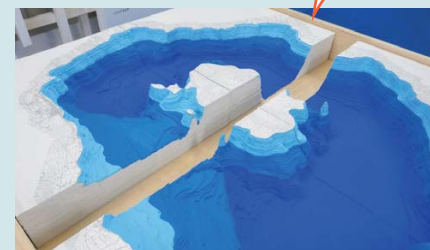
持続可能な世界・北海道高校生ポスターコンテストの発表の様子

■今後のプラン

イベントや教育、ツーリズムと連動した活用に展開

◎火山の学習を通じた減災教育への活用を進める

- ・洞爺カルデラや有珠山に関する火山学習
- ・噴火史やハザードマップの学習を併せて行うことで、地質災害のリスク軽減に関する教育(減災教育)等



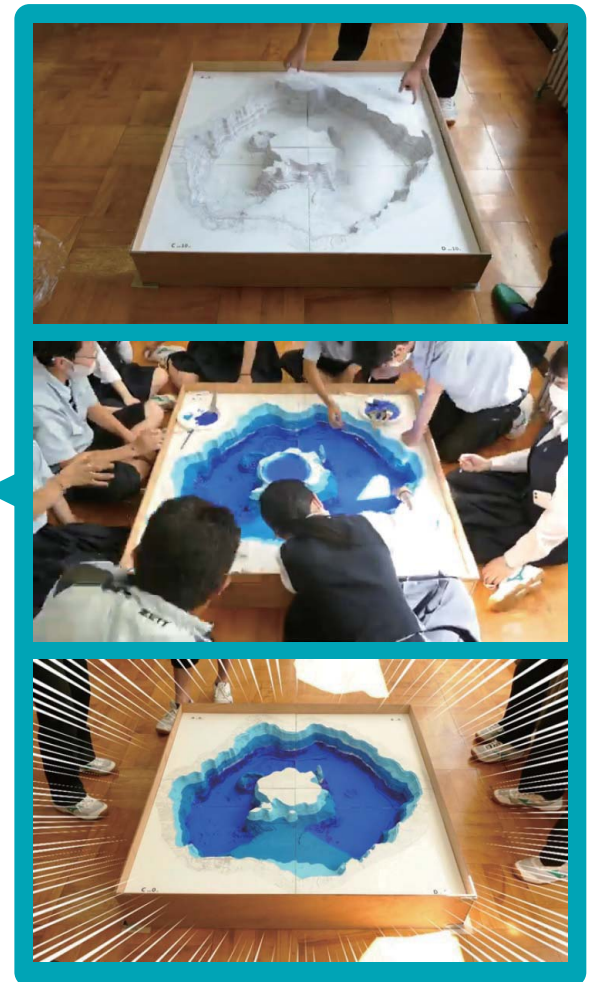
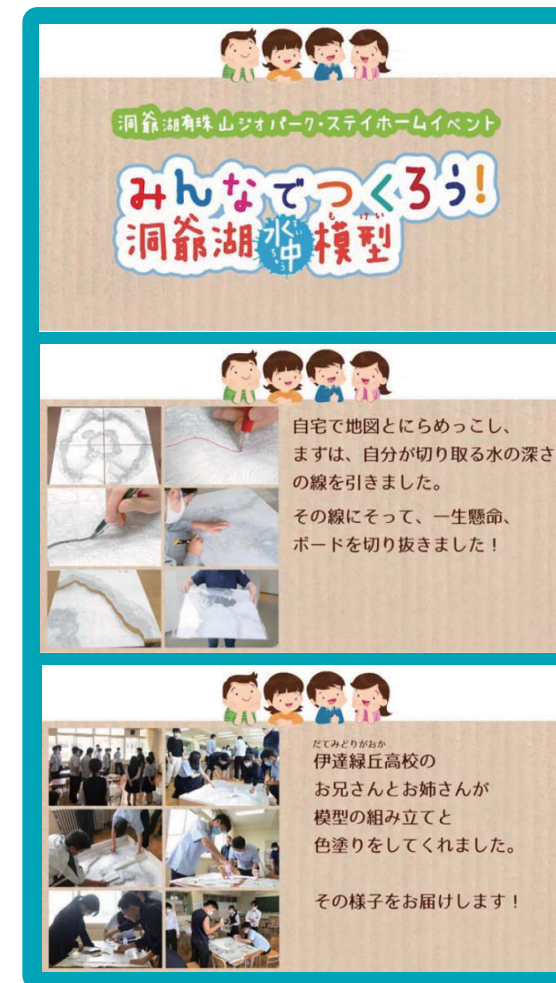
分割して断面を観察することもできます!

◎野外ツアーやイベントにおける活用を進める

- ・2020年に開催できなかった洞爺湖の秘密を探る学習会の実施
- ・洞爺湖で準備されている水上ジオツアーのガイダンスに利用
- ・火山活動の実験装置(教材)としての利用等



■Youtube 動画の公開



伊達緑丘高校の地理クラスのみなさんによる「洞爺湖水模型」の組み立て作業は、動画で公開しています。上のQRコード(または下のURL)から、アクセスしてください。

URL: https://www.youtube.com/watch?v=D01_axEhLDY